

「自立支援に資するケアマネジメント支援」 ～地域ケア会議を通じたケアマネジャーの支援・育成～

兵庫県朝来市地域包括支援センター 主任ケアマネジャー足立里江

(写真:兵庫県朝来市 指定文化財 国指定史跡竹田城)

1

1 兵庫県朝来市の概況

(平成25年4月1日現在)

- 朝来市の人口 約33,000人
- 高齢化率 30.2%
- 要介護認定者 約2,000人
- 居宅介護支援事業所 9か所
 - ・ケアマネジャー 21名
 - ・主任ケアマネジャー 13名
- 地域包括支援センター
 - 直営1か所・委託1か所
 - ・主任ケアマネジャー 3名



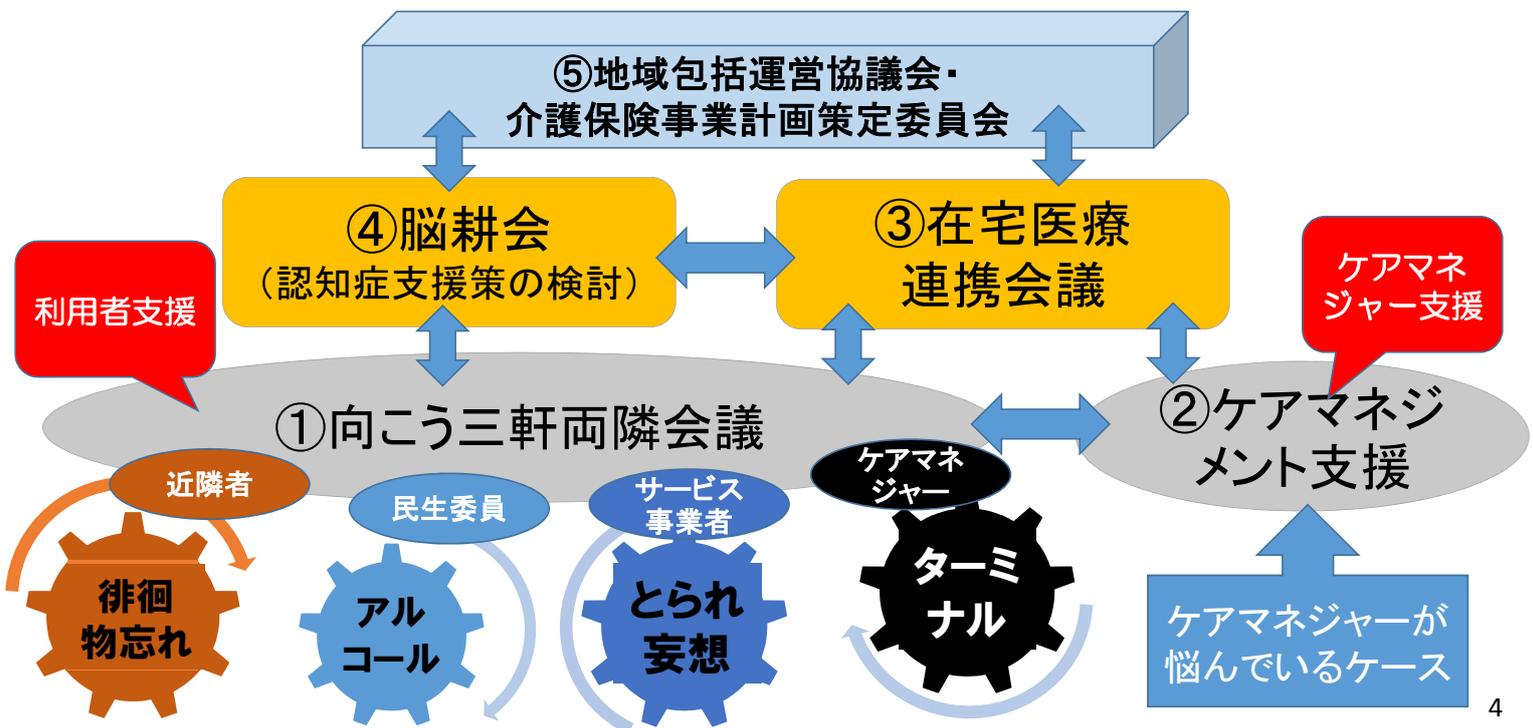
2009/09 月刊ケアマネジャー掲載写真

2 それぞれの地域ケア会議が果たす役割

| 会議名 | 内容 | 参集者 | 個別課題解決 | ネットワーク構築機能 | 地域課題発見機能 | 地域づくり・資源開発機能 | 政策形成機能 |
|--------------------------|--------------------|---------------------|----------------|------------------------|-------------|--------------|----------------|
| ①向こう三軒両隣会議 | 利用者支援 | 当事者・地域住民・関係機関等 | ◎対象者が抱える課題 | ◎フォーマルとインフォーマルの連携 | ○困難ケースの蓄積 | ◎自助・互助を育む | × |
| ②ケアマネジメント支援会議 | ケアマネジャー支援 | 主任ケアマネジャー13名 | ◎ケアマネジャーが抱える課題 | ◎主任ケアマネジャーとケアマネジャーの関係性 | ○困難ケースの蓄積 | ◎指導マニュアル開発等 | × |
| ③在宅医療連携会議 | 介護・医療の連携に関する仕組みづくり | 医療・介護専門職(事業所代表者)25名 | × | ◎介護・医療のネットワーク | ◎①②④の会議内容提出 | ◎連携マニュアル作成等 | × |
| ④脳耕会 | 認知症支援策の検討 | 関係機関代表者15名 | × | △ | ◎①②③の会議内容提出 | ◎ドリル・ゲームの開発 | ◎見守り協定・オレンジプラン |
| ⑤地域包括運営協議会・介護保険事業計画策定委員会 | 地域課題の検討 | 関係機関代表者15名 | × | △ | ◎①～④の会議内容提出 | ◎ | ◎介護保険事業計画 |

3

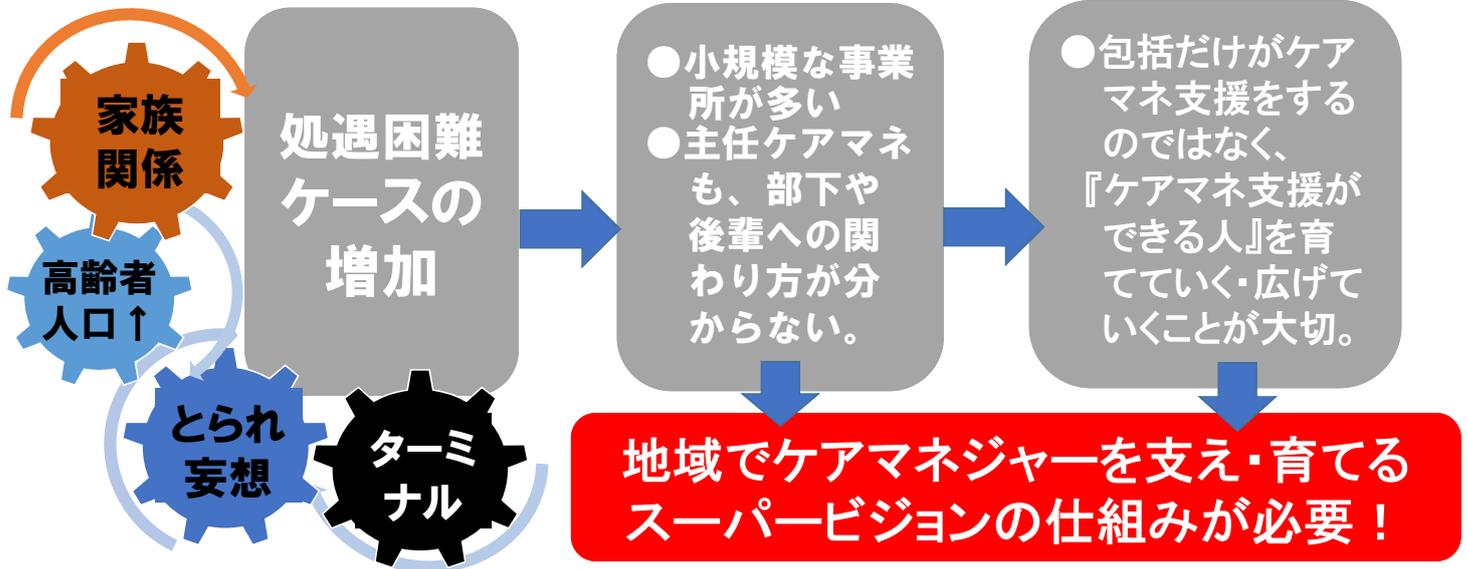
3 それぞれの地域ケア会議を組み合わせてデザインする



4

4 ケアマネジメント支援の必要性

平成18年度 市内ケアマネジャーから
地域包括への相談件数 153件/年



5

5 スーパービジョンの土壌を耕す



6

6 ケアマネジメント支援の仕組みづくり(包括と居宅の協働・連携)

【目的】

一人ひとりのケアマネジャーが、「自立支援に資するケアマネジメント」を利用者に提供できる

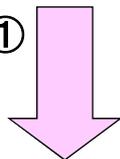
主任CMが、部下や後輩をしっかり支援できる

地域に、スーパービジョンの仕組みをつくる



地域包括支援センター

①



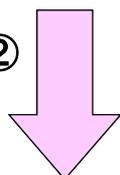
『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』の実施

- ①アセスメント力
- ②部下や後輩へうまくかわる力
- ③カンファレンスを運営する力

③

居宅・主任ケアマネジャー13名

②



事業所内で『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』を実施

包括が各事業所を巡回し、主任CMが主催する『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』をサポートする。

●居宅介護支援事業所 9か所
⇒ケアマネジャー 21名

7 カンファレンス方式ケアマネジメント支援の方法

- 目的：① 主任ケアマネジャーの支援・育成
- ② ケアマネジャーの支援・育成
- ③ 主任CMとケアマネジャーのスーパービジョン関係構築

●方法：1事例1時間程度・カンファレンス方式

●事例選定：CMがケアプラン作成や支援に困難を感じている事例

●ルール：「批判や時期尚早の意見・アドバイスは慎む」「担当ケアマネジャーの思考の流れに沿った質問を投げかける」等、「気づきの事例検討会」のルールを参照し、スーパービジョンの要素を含むカンファレンスとした



●「カンファレンス方式ケアマネジメント支援」のメリット

- ①支持的な雰囲気の中でこそ、ケアマネジャーが、自分のアセスメントやケアプランの内容を見直し、修正することを受け入れられる。
- ②多少の時間や手間はかかっても、真の自立支援につながる検討ができる。
- ③それは、参加しているケアマネジャーにとっても「学びの場」となり、また、日常的に主任CMとケアマネジャーが話せる関係づくりにつながる。



8 ケアマネジメント支援に資するケース分析

- 分析対象・・・21事例の検討内容
- 分析方法・・・①基本情報
②検討内容の整理
③ケアマネジャーの気づき
- 検討内容は5項目で整理
 - ①問題の特徴
 - ②問題対処力
 - ③システムとの関係
 - ④資源
 - ⑤意欲

1. 5項目の検討度合いの比較

「問題対処力」と「システムとの関係」に着目した検討内容が多い

2. 問題の特徴による検討内容の違い

| 脳卒中・骨折等の事例 | 認知症や意欲喪失の事例 |
|------------|--------------------------|
| 身体機能の検討が多い | 「問題対処力」や「システムとの関係」の検討が多い |

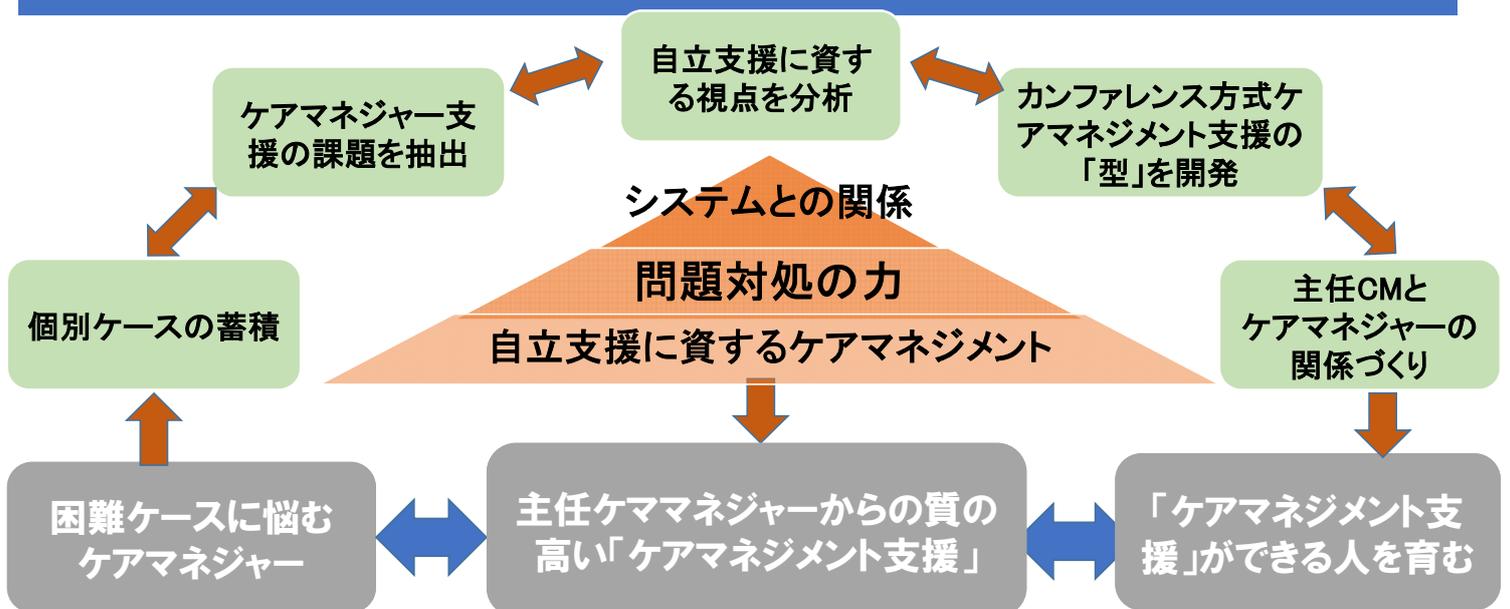
3. ケアマネジャーの「新たな気づき」

「本人・家族の問題対処の力」に気づいた事例が17件(81%)あった。

※身体機能を重視した検討は全体の38%のみ

9

9 『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』の効果



ケアマネジャー個人の課題⇒ケアマネジメント全体の課題へ転換
⇒支援・育成の視点整理⇒更なる『ケアマネジメント支援』へ

10